

宮農だより

金沢営農協議会
J A 金沢中央
石川県農業共済組合

7月のポイント～高品質金沢産米づくり運動10の推進技術～

- 畦畔・農道等は、7月上旬までに追加除草
- 高温登熟、生育に対応した施肥体系
- 中干し後～出穂までの約1か月の飽水管理
- 出穂～刈取直前までの1か月以上の飽水管理(コシヒカリ)

出穂予想日 **コシヒカリ…7月28日頃** (圃場の1/2以上が出穂した時)
(6月24日現在) 地域や圃場、天候によって出穂日は前後します。

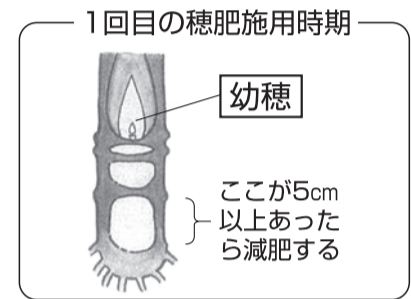
乳白粒防止のためのコシヒカリの穂肥施用

ポイント

1. 1回目の穂肥は出穂16日前に適量施用する。

1回目の穂肥
施用時期の確認

幼穂長：15～20ミリ
葉色：3.5 (葉色板)



2. 施用時期は必ず幼穂の伸長と葉色、稲型を確認して施用する。
3. 2回目の穂肥は遅くとも出穂の7日前までに施用する。

稲型診断パターン

A型…葉色が薄い(葉色3.5)
(標準) 葉が立ち、下葉の乱れがない

基準通り施用
(茎数が多い場合は1回目の施用量を3kg程度減らす)



写真：A型の例

B型…葉色がやや濃い(葉色4.0)
株が出来過ぎ、らちが見えない
下葉の乱れがみられる

1回目の施用時期を3日程度遅らせ、
施用量を基準量の2～3割程度減らす
2回目は、基準量を施用する

C型…葉色が濃い(葉色4.5)
葉の乱れが目立つ

1回目の穂肥を施用しない
2回目は、草丈・葉色を見て施用量を判断する

(B型、C型の稲型ではすでに下位節間が伸びてきています。倒伏に要注意!!)

穂肥施用時期の目安と施用量

(10a当たり)

| 区分 品種名 | 肥料名 | 1回目 | | 2回目 | |
|-----------|---------------------------------|---------|------|---------|------|
| | | 施用時期 | 施用量 | 施用時期 | 施用量 |
| コシヒカリ | BB有機入追肥526号 (N:15-P:2.4-K:6) | 7月12日前後 | 13kg | 7月20日前後 | 17kg |

◎市街地では上記の2～3日前を目安とします。

◎1回目の穂肥を減量した場合でも2回目は必ず基準量を施用する。

今後の水管理

中干し後～刈り取り5日前までの間は、**飽水管理**とする。

- 平坦地域の飽水管理の目安
ゆめみづほ 8月15日頃まで
コシヒカリ 8月30日頃まで

飽水管理とは…こまめに通水して、常に土壤水分を保つような水管理をすること

中干し後から出穂までは、約1か月間(コシヒカリ)の飽水管理!!

J A金沢中央のホームページでも宮農だよりを掲載しております。「J A金沢中央」で検索して下さい。

病害虫防除 斑点米を発生させるカメムシ類が多く、の地点で確認されています。

基幹防除 (出穂予想：ゆめみづほ7月17日頃、コシヒカリ7月28日頃)

◆粒剤散布の場合 (市街地など粉剤散布ができない圃場)

| | 防除時期 | | 薬剤名・適用病害虫 | 散布量・収穫前使用日数 |
|-----|-----------------------|-------------------------|--|--|
| | ゆめみづほ | コシヒカリ | | |
| 1回目 | 7月3～7日 (出穂前14～10日) | 7月14～18日 (出穂前14～10日) | イモチエースキラップ粒剤 いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類 *使用回数は1回です。 | 3kg/10a 収穫35日前まで (散布後35日以内の収穫不可) |
| 2回目 | 7月20～24日 (出穂後3～7日) | 7月31日～8月4日 (出穂後3～7日) | スタークル粒剤 または スタークル豆つぶ カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類 | 粒剤：3kg/10a 豆つぶ：250g/10a 収穫7日前まで |

※粒剤は、湛水状態で散布し、3～4日間は湛水状態を保つ。

※スタークル粒剤での防除は、「出穂期～穂が出揃った頃」が最適です。

◆粉剤散布の場合 カメムシ類に効果的な防除は、出穂7～10日後頃と、更にその7日後頃の散布です。

| | 防除時期 | | 薬剤名・適用病害虫 | 散布量・収穫前使用日数 |
|-----|---------------------------|-------------------------|---|-----------------------------------|
| | ゆめみづほ | コシヒカリ | | |
| 1回目 | 7月10～14日 (出穂前7～3日) | 7月21～25日 (出穂前7～3日) | ビームトレモンセレン粉剤 DL いもち病、紋枯病、カメムシ類、 ツマグロヨコバイ、ウンカ類、コブノメイガ | 4kg/10a 収穫21日前まで |
| 2回目 | 7月24～27日 (出穂後7～10日) | 8月4～7日 (出穂後7～10日) | ラブサイドスタークル粉剤 DL いもち病、カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ、イナゴ類 | 4kg/10a 収穫7日前まで |
| 3回目 | 7月31日～8月3日 (出穂後14～17日) | 8月11～14日 (出穂後14～17日) | スタークル粉剤 DL カメムシ類、ツマグロヨコバイ、 ウンカ類、イナゴ類 | 3kg/10a 収穫7日前まで |

※粉剤散布後3時間程度降雨がなければ、効果があります。

※防除は稲の株もとにもいきわたるように散布して下さい。

◆微粒剤の場合、防除時期は粉剤と同じです。

随時防除

稲こうじ病が前年発生した圃場では菌の密度を下げるため、Zボルドー粉剤DLを散布して下さい。

| 対象病害虫 | 薬剤名 | 散布量 | 防除時期 (収穫前使用日数) |
|-----------|--------------|---------|----------------------|
| 稲こうじ病 | Zボルドー粉剤DL | 4kg/10a | 出穂前20～10日 (出穂10日前まで) |
| 稲こうじ病・紋枯病 | モンガリット粒剤 | 3kg/10a | 出穂前14～10日 (収穫45日前まで) |
| いもち病 | ブラシン粉剤DL | 4kg/10a | 発生時 (収穫7日前まで) |
| 紋枯病 | リンバー粒剤 | 3kg/10a | 出穂前14～10日 (収穫30日前まで) |
| コブノメイガ | Mr.ジョーカー粉剤DL | 4kg/10a | 多発時 (収穫7日前まで) |

金沢管内の生育調査結果 (6月24日調査)

| | ゆめみづほ | | | | コシヒカリ | | | |
|----|--------|---------|-----------------------|-------|--------|---------|-----------------------|-------|
| | 草丈(cm) | 茎数(本/株) | 茎数(本/m ²) | 葉数(枚) | 草丈(cm) | 茎数(本/株) | 茎数(本/m ²) | 葉数(枚) |
| 本年 | 52.7 | 39.2 | 711 | 10.3 | 53.1 | 31.4 | 636 | 10.2 |
| 前年 | 45.8 | 31.3 | 565 | 9.6 | 48.8 | 26.9 | 473 | 9.6 |
| 平年 | 50.3 | 31.3 | 564 | 10.4 | 53.0 | 30.0 | 562 | 10.2 |

生育概況

- ・草丈は、ゆめみづほで平年よりやや長く、コシヒカリで平年並。
- ・茎数は、ゆめみづほで平年より多く、コシヒカリでやや多い。
- ・生育は、ゆめみづほ、コシヒカリともに1日程度早い。

※農薬は使用時期・量を厳守し、正しく使用しましょう。

※7月上旬まで畦畔や農道の除草を徹底しましょう！刈取った雑草は用排水路に入らないよう注意！